

## ⑯ 公開実用新案公報 (U)

昭55—117184

⑮ Int. Cl.<sup>3</sup>

H 02 K 29/00

// H 02 K 21/24

識別記号

庁内整理番号

2106—5H

7733—5H

⑰ 公開 昭和55年(1980)8月19日

審査請求 未請求

(全 5 頁)

## ⑱ 面対向モータ

⑲ 実 願 昭54—16098

⑳ 出 願 昭54(1979)2月9日

㉑ 考 案 者 天野謙一

東京都港区港南1丁目7番4号

ソニー株式会社芝浦工場内

㉒ 出 願 人 ソニー株式会社

東京都品川区北品川6丁目7番  
35号

㉓ 代 理 人 弁理士 土屋勝 外3名

## ㉔ 実用新案登録請求の範囲

モータ軸に直交する平面内でループを形成する複数相のコイルにモータ軸方向の磁束を作用させて回転トルクを得るようにした面対向モータにおいて、3以上の奇数の対極数を有する界磁マグネット上で上記磁束を形成すると共に、電気角で互に $\pi$ の奇数倍の位相差でモータ軸は関して互にはば対称な位置に配置されている少くとも一對の互に直列に接続されたコイルでもつて上記夫々の相のコイルを構成するようにした面対向モータ。

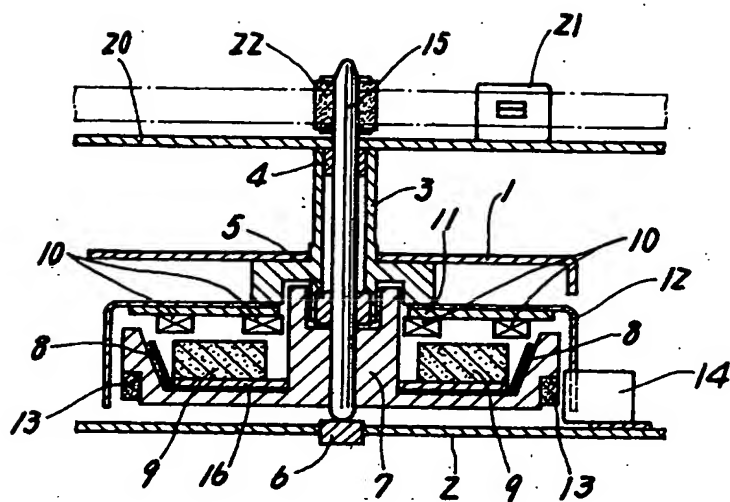
## 図面の簡単な説明

第1図～第4図、第4B図は本考案が解決している問題点を示す図面であつて、第1図は面対向形ブラシレスモータをテープレコーダのキャプスタンモータとして使用した一例を示すテープレコーダの要部断面図、第2図第1図のキャプスタン

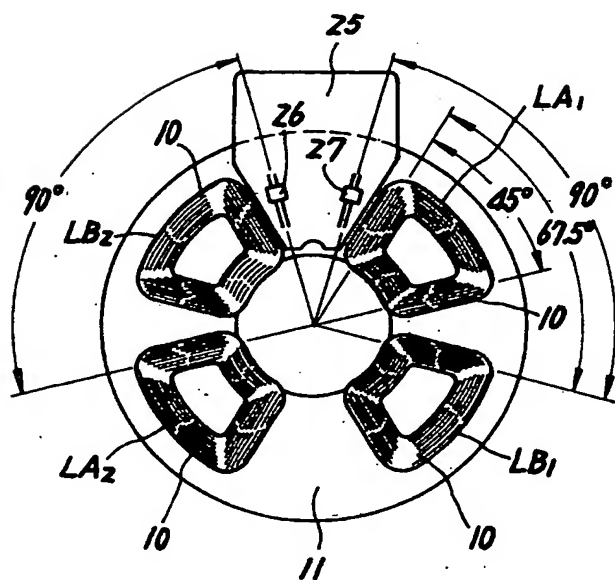
モータとして2相交流駆動形の直流ブラシレスモータを使用した場合のステータの平面図、第3図は界磁マグネットの平面図、第4A図は第2図のA相コイルの電流の向きを示すための第2図の簡略図、第4B図はA相コイルによつて生ずる磁束を示す略線図である。第5～第7A、7B図は本考案の実施例を示し、第5図はステータの平面図、第6図は界磁マグネットの平面図、第6図は界磁マグネットの平面図、第7A図は第5図のA相コイルに流れる電流の向きを示すためのステータの簡略図、第7B図はA相コイルによつて生ずる磁束を示す略線図である。

なお図面に用いられている符号において、9……マグネット、15……軸、 $L_{A1}$ 、 $L_{A2}$ ……A相コイル、 $L_{B1}$ 、 $L_{B2}$ ……B相コイルである。

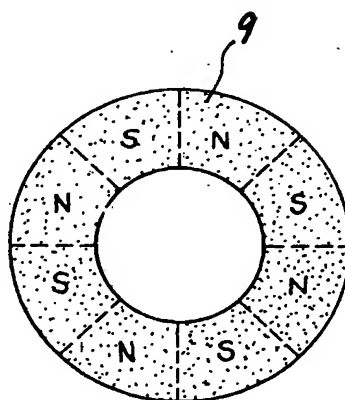
第1図



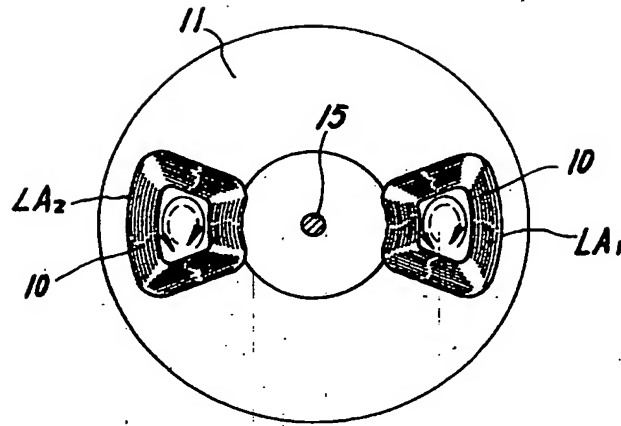
第2図



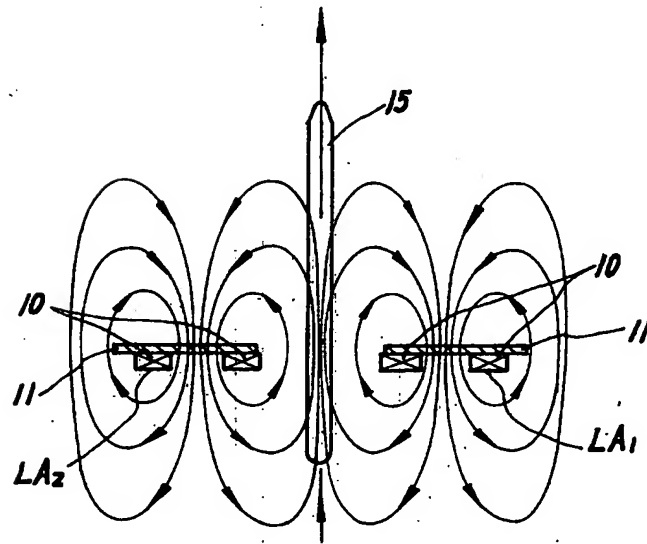
第3図



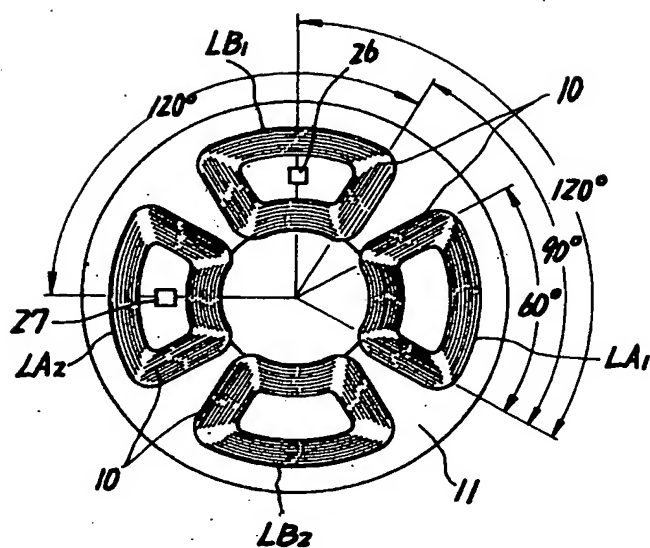
第4A図



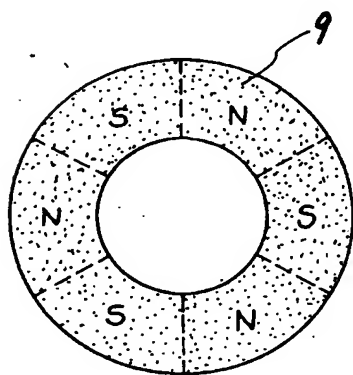
第4B図



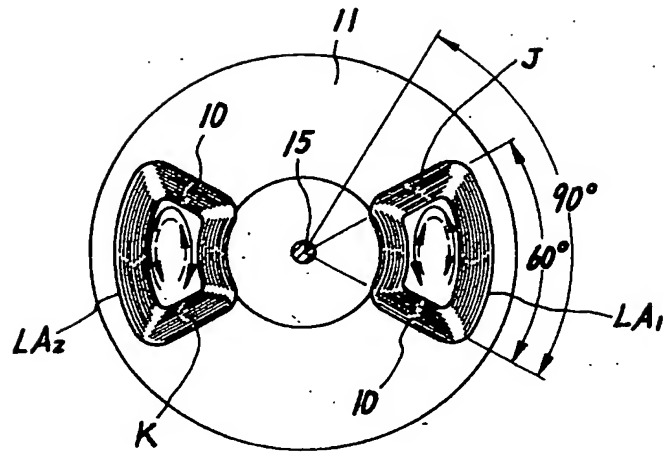
第5図



第6図



第7A図



第7B図

